

令和6年3月

令和5年度 東京都立練馬特別支援学校 学校経営報告

I 今年度の重点目標と方策の結果

1 人権を尊重した教育の充実

人格を否定する乱暴な態度・言葉、追い込む指導等の不適切な指導の徹底的な排除のため、様々な機会を捉え、教職員への指導や注意喚起等を行った。また、いじめ防止基本計画に基づく指導の徹底を図った。生徒の自己肯定感を育む教育の推進を図った。しかし、保護者アンケートの数値は目標を下回る結果であった。生徒及び保護者により実感ももってもらえるように取り組みの改善を図っていく。

2 自立と社会参加に向けた指導の充実と分かりやすい授業の推進

キャリア・パスポートを使った授業を今年度から始めた。まだまだ改善していく必要があるが、保護者の方から肯定的な意見もいただいた。更なる充実を図り、キャリア教育の充実を図って行く。

教員の一人一授業公開において、ICT機器（一人一台端末を含む）を活用した授業の公開を教諭、主任教諭については実施できた。作業学習については夏季休業中に模擬授業を実施するなど指導内容等の改善を図った。しかし、保護者アンケートの数値は目標を下回る結果であった。生徒一人一人に応じた指導の充実は、生徒の人権に配慮した指導の充実と同様に、学校を運営していく上で終わることのない課題の一つである。継続して授業力の向上に取り組んでいく。

生活単元学習などの「各教科等を合わせた指導」では基になる教科の指導内容をより明確に取り扱うことができるようになってきた。

年間の研究活動により、職能開発科の設置に向けて、各教科等のシラバスを作成することができた。

3 地域や関係諸機関との連携と開かれた学校づくりの推進

学校生活支援シートや個別移行支援計画の作成や活用についての組織的な進行管理を行うことで生活支援機関及び就労に関わる機関との連携の充実を図った。

都立高等学校との連携については、学校の要請等により訪問回数にはバラつきがあるが、高等学校が本校のコーディネーターと一緒に他校を訪問するなど、エリアの中で動きが出てきたことが成果である。また、この取り組みを本校の他の教員があまり知らない状況があるため、校内での報告会を実施した。

職能開発科に関する情報をより分かりやすく発信するためのウェブサイトの改善を5月に行った。

4 安全・安心な教育環境、施設設備の整備充実

地域と連携した防災訓練については雨天での中止やその後の調整ができずに実施できなかった。

医療的ケアについては医師、看護師と連携し安全に実施することができた。アレルギー事故防止の徹底を図った。

今年度は体育やスポーツ部での事故が2学期に多く発生した。コロナ禍の影響による運動の経験不足や体力の低下なども考えられる。学校経営支援センターの学校経営支援主事から指導・助言を受け、指導内容の改善・充実を図った。

校内の安全確認の徹底については、学年によって取り組み方が異なる等、組織的な取り組みについて課題が見られたため改善を図った。

5 体力の向上及び芸術文化関係の指導の充実

ボッチャなどの障害者スポーツを取り入れた体育的活動の充実を図った。また体育館棟が完成したことで、雨天時の体育的活動の充実が図れた。

東京都アートプロジェクト等の文化・芸術的な取り組みへの積極的に申込み、アートプロジェクト展については本校から3名の生徒が選抜され出典した。

6 教職員がチームとして力を発揮できる組織運営と教員の働き方改革の推進

効果的な予算執行のためのセンター執行率については昨年度よりも向上することができた。また、職能開発科の初度調弁については落差金への対応を含めて対応することができた。クリーンデスクの継続的な実施、個人情報管理の徹底を図った。教員各自が設定する定時退庁日、No 残業 Day 等を実施するとともに、会議の円滑な進行及び会議時間の厳守に取り組むことができ、職員連絡会についてはかなりの時間の短縮ができた。

II 重点目標と方策（数値目標）

項目	内容	数値目標	結果
1 人権を尊重した教育の充実	人権教育に関する研修会の実施	年2回以上	4回
	生徒の人権に配慮した指導の実施	85点以上(※1)	82点
	生徒アンケート及び聞き取り調査によるいじめの実態把握	年3回以上	4回
2 自立と社会参加に向けた指導の充実と分かりやすい授業の推進	生徒一人一人に応じた指導の実施	85点以上(※2)	80点
	アセスメントを活用した個別移行支援計画の作成	100%	100%
	職能開発科の各教科等のシラバスの作成	11月を目途に完成	11月に完成

	主任教諭・教諭の年1回の授業公開 ※次のいずれかの授業での実施 ・「働くための態度」を育成する作業学習の改善 ・生徒がiPadを活用する各教科等の学習	100%	100%
	生徒の希望進路の実現	100%	100%
	産業現場等における実習が可能な新規企業の開拓	10社以上	16社
3 地域や関係諸機関との連携と開かれた学校づくりの推進	学校ウェブサイトの定期的な更新	年間200回以上	231回
	地域中学校向け進路指導研修会の実施	年間1回以上	3回
	都立高等学校(地域指定校)と連携した研修会の実施	年間1回以上	3回
	都立高等学校(地域指定校)への訪問等の実施	各校年間2回以上	2回
	職能開発科に関するウェブサイトの改善	5月中に完成	5月に完成
4 安全・安心な教育環境、施設設備の整備充実	教員相互による教室環境の点検及び整備の徹底	月1回点検の実施	月1回実施
	ヒヤリハット事例による事故防止研修の実施	年3回以上	10回
	校内規程等の遵守による事故未然防止の徹底	重大事故ゼロ	0
5 体力の向上及び芸術文化関係の指導の充実	障害者スポーツ大会等への参加	4大会以上	5回
	東京アートプロジェクトへの作品出典	10作品以上	60作品
	対象生徒の部活動参加率の向上	50%以上	53.7%
	外部指導員による指導の充実	年間35時間以上	84時間
6 教職員がチームとして力を発揮できる組織運営と教員の働き方改革の推進	本校既定のクリーンデスク達成率の向上	100%	92% (100%)
	定時退庁日の設定と退庁日の勤務時間内退勤の徹底	超過勤務月45時間超の教員25%以下	14%
	自立経営推進予算のセンター執行率の向上	65%以上	66.6%

※1 保護者アンケート：「生徒の人権に配慮し、一人一人を大切に、丁寧な指導が行われている」の項目の点数化による平均値

※2 保護者アンケート：「各教科の学習は、一人一人の障害特性に応じた指導が行われている」「日常生活において、アセスメント結果を活用した指導が行われている」の項目の点数化による平均値